

文学かおる、散歩みち

潮の音。プロムナード

時代に名を残した若山牧水や井上靖、本居長世、勝田香月など数々の文人墨客に親しまれた松林と富士山、そして駿河湾の風景を取り込んだ約6キロの散策路。志下海岸と千本松原を結ぶこの小径は「潮の音プロムナード」と呼ばれ、道程に点在する歌碑や文学碑とともに、ぬまづの宝に認定されています。

落ち着いた雰囲気に含まれるこのプロムナードでは、その名の通り潮騒が聞こえ、頬に海風を感じる事ができます。

春には叢生するハマヒルガオが牛臥や鳥郷の海岸を鮮やかに染め、冬には澄んだ空気の駿河湾の向こうに沈む夕陽が、雪をたたえた霊峰とあたり一面を茜色に照らします。初夏から秋にかけては、朝陽を浴びながら、松籟の中に培われた文学風土を感じてみると、とても心地よいウォーキングとなります。

運航シーズンには我入道の渡し船もプロムナードに組み込まれ、狩野川を渡る風が沼津の心地よさをそっと語りかけてくれます。

歩くことで感じるぬまづの宝。五感で味わってみてはいかがでしょう。

◎観光戦略課 TEL 055-934-4747

